

◆ ◆ ◆ 緊急地震速報利用者協議会の活動について

・「危機管理産業展（RISCON TOKYO）2009」へ出展しました

株式会社東京ビッグサイトでは、東京都の協力のもとに、平成 21 年 10 月 21 日（水）から 23 日（金）にかけて東京ビッグサイト西ホール・会議棟（東京都江東区有明 3-21-1）において、「危機管理産業展 2009」を開催しました。今回で 5 回目を迎える本展示会は、「防犯」、「防災」及び「リスク管理」の三つの分野にわたる危機管理総合展示会として開催されているものです。

昨年の開催に際しては、来場者数は行政や企業の防災対策担当者等を含めて 6 万人を超える来場者があったと報告され、今年も昨年と同程度の来場者が見込まれました。特に、今年は新型インフルエンザ対策、事業継続計画(BCP)及び耐震・緊急地震速報などの特設ゾーンも用意され、来場者の関心を集めていました。

緊急地震速報利用者協議会では、一昨年から継続して出展しており、緊急地震速報利用者協議会の周知・広報や会員の事業の紹介（緊急地震速報関連リーフレットの配布）を行いました。本展示会の来場者は、政府、自治体及び企業等の防災関係者が多数を占めることから、本活動は緊急地震速報の周知・広報をはじめ、更なる利活用の促進に向けて、大きな効果が期待されております。



（「危機管理産業展 2009」での緊急地震速報利用者協議会ブースの様子）

・緊急地震速報のロゴマークの愛称の制定について

緊急地震速報利用者協議会は、緊急地震速報の周知・広報をより効果的に推進するためロゴマークを平成 19 年 7 月に制定し、これまで各種広報資料やリーフレットなどに広く使用されてきました。

ナマズをモチーフとしたものについて、その愛称を付けて欲しいとのご要望が多く寄せられたことから、緊急地震速報利用者協議会の総会及び総合部会に諮り、愛称を募集することとなりました。本協議会ホームページ、気象庁のご協力による「お天気フェア」などでの周知の結果、広く一般から応募いただき、259件、201作品が寄せられました。募集期間が夏休みだったこともあり、多くの子供さんなどからユニークな愛称の応募があり、緊急地震速報の周知・広報にも一役買うことができました。

愛称は緊急地震速報利用者協議会会員による投票の結果、「ゆれるん」と決まりました。最優秀賞及び佳作に入選した方へは、賞状及び副賞を贈呈しました。

緊急地震速報のロゴマークを愛称と共に広く活用いただくことにより、緊急地震速報の認知度の向上を図り、大きな揺れが来る前に適切な行動を執り地震による被害の軽減につなげていただけるよう、今後、更なる緊急地震速報の普及に努めて参る所存です。



愛称： 「ゆれるん」

由来： 地震の揺れが来ることをお知らせする「ゆれ」と、気象庁のマスコットキャラクター「はれるん」の「るん」をいただき、「ゆれるん」としました。
二人で災害の防止にがんばっていただきたいという願いを込めています。

・平成 21 年度緊急地震速報講演会と緊急地震速報関連機器展示会の開催について

気象庁と緊急地震速報利用者協議会では、昨年度に引き続き、平成 21 年 12 月 1 日(火)に日本教育会館(一ツ橋ホール) (東京都千代田区一ツ橋 2-6-2) で、平成 21 年度 緊急地震速報講演会「あなたを大切な人を 守りたい」を開催します。この講演会では、多くの子供たちが犠牲になった日本海中部地震での災害を教訓に、子供たちの大切な生命を守るためには何が必要なのか、また、大切な家族を守るためにどのように緊急地震速報を活用するのかを、フリージャーナリストの池上 彰(いけがみ あきら)氏と危機管理アドバイザーの国崎 信江(くにざき のぶえ)氏のお二人の講師によりご講演をいただきます。

大きな揺れが来る前にお知らせする情報、「緊急地震速報」を地震災害の軽減に利活用するため、また、緊急地震速報をより理解していただくために多くの方のご参加をお待ちしております。入場は無料ですが、事前申し込みが必要です。

往復はがき又は気象庁ホームページから申し込むことができます。詳しくは、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/press/0910/23c/h21eewkouen.html>) をご覧ください。

また、同日、一ツ橋ホールのホワイエで緊急地震速報利用者協議会主催、気象庁後援の「緊急地震速報関連機器展示会 ― 見て 知って 活かそう 緊急地震速報!! ―」を開催します。この展示会は、今年で 3 回目となり、同協議会会員で緊急地震速報端末の製造・販売事業者や配信事業者が実際の機器を展示し、緊急地震速報を利用するために、どのような設備やサービスがあるかを解りやすく展示、実演を行います。家庭や企業そして自治体等の防災機関での目的別の関連機器を展示する予定です。実際に緊急地震速報の機器を見て、導入計画のご参考としていただくために大勢の方のご来場をお待ちしております。入場は無料で事前申し込みの必要はありません。詳しくは、同協議会ホームページ (<http://www.eewrk.org/>) をご覧ください。

(財団法人気象業務支援センター配信事業部長 加藤芳夫)